

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

平成 26 年 3 月期においては、税引前当期純利益の大幅増加（前年度比 329%増）により、営業活動によるキャッシュ・フローが 31,142 千円増加した。

また、有形固定資産の取得並びに金の延板の取得により、投資活動によるキャッシュ・フローが 12,666 千円減少した。財務活動によるキャッシュ・フローの増源はなかった。

したがって、平成 26 年 3 月期における現金及び現金同等物の増加額は、18,476 千円となった。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項目	変動内容	変動要因
その他流動資産の増加額	6,942 千円	「新しい東北」モデル事業の資金立替
その他の投資支出	8,756,千円	復興支援による金の延板の取得

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額（単位：円）	補助金の使途

(2) 市からの委託業務等（指定管理含む）の状況

委託業務の名称	委託料（単位：円）	委託業務の内容
石ノ森萬画館指定管理料	50,000,000 円	
観光コンシェルジュ創出事業	5,574,132 円	いしぴょんず運営 他
マンガを使った街づくり推進事業	13,914,671 円	アンテナショップ運営 他
「マンガを活かした街づくり」復興促進業務	11,970,000 円	復興マガジン「マンガタン」の刊行 他

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額（単位：円）	減免理由

市が期待する役割、市意見等（別紙）

法人名：株式会社街づくりまんぼう

担当部署名：産業部商工課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

目標項目・指標としている石ノ森萬画館有料入館者数と入館料売上高は、実質同じ指標である。今後は平成25年3月の萬画館リニューアルオープンという特殊事情後となり、来館者数・売上高の減少が見込まれるが、説明にもあるように営業努力、企画・イベントの創意工夫を重ね、安定的な収入の確保に努め、街づくりの原資としていただきたい。また、平成29年度期まで減少し続ける目標計画となっているが、各種努力を行うことから、目標としては少なくとも震災前3年間の平均有料入館者数76,000人及び平均売上高である56,500千円程度は維持又は上回る数値としていただきたい。

（2）主要事業の成果、課題

取組成果を次年度以降の事業運営に活かしていただきたい。また、前年度のチェックシート記載の課題では「来館者を市街地及び周辺地域へ周遊させ、より一層の経済効果を図ることと来館者数の維持が課題」となっていることから、この課題に対しても真摯に対応していただきたい。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）に対する意見

（1）貸借対照表

特になし

（2）損益計算書又は正味財産増減計算書

特になし

(3) キャッシュフロー計算書

特になし

(4) 市による財政・金融支援等

特になし

3 法人に対し市が期待する役割等（担当部署所感）

活動原資である収益を生み出す萬画館運營業務にも注力することは必要であるが、運営のみならず、萬画館を一つの素材として中心市街地をはじめとするまちづくりのグランドデザインを描き、各種事業やイベントの位置付けを行った上で、集客力のあるイベントの開催と魅力ある商品開発を推進し、中心市街地の賑わいの創出、物販事業収益の街づくり事業（各種イベント等）への還元等、中心市街地活性化の担い手として、各種事業を実施することにより、定款第2条（目的）第1項から3項記載の「まちづくり」「商業振興」「都市開発ならびに土地建物の有効活用」に関する各種業務を遂行し、TMO本来の目的である中心市街地全体のマネジメントを行う役割を期待している。また、その本来の目的に対する取組がさらに市民の目に見える形で行われることを期待している。

